伊勢っ子

８月号

さあ二学期 生活をつくる

この夏休み、当初の予報では猛暑の見通しとなっていましたが、梅雨明け宣言が出された直後から雨模様の日が多く、ちょっと不完全燃焼気味な夏休みだったように思います。

でも子どもたちは事故や大きなケガもなく元気に過ごせたようです。

プールは台風による中止を一日除き、十一日開設できました。参加延べ数は、七百四十五人、一日平均約六十八人でした。

図書館の利用者延べ数は三百六十八人、一日平均約五十三人でした。

プールも図書館も積極的に利用がされたことは、とても喜ばしいことです。

今日から二学期が始まります。家庭での生活から学校生活へと切り替わります。スムーズにチェンジできるようにすることが、この時期のめあてでもあります。そのためには、学校の持ち物など前日中に準備をしっかりしておくことが大切になります。食事や睡眠も大切な準備です。これらの準備ができると安心感が生まれ、自信を持って物事に向かっていく原動力になると思います。

二学期には大きな行事が控えています。運動会をはじめ、秋の遠足、伊勢っ子フェスタなど。これらの行事は子どもたちにとって大いに楽しみであり励みとなるものです。そして、意欲・やる気を生み出します。

準備と意欲を大切に、二学期の生活をつくっていくよう取り組んで参ります。

三百人超の参加 奉仕作業に感謝

八月二十六日（土）の早朝六時から、父母教師会奉仕作業を行っていただきました。保護者、児童、職員、それに加えて卒業生も。優に三百人を超す参加をいただきました。

普段、学校ではなかなかできない所を中心に清掃作業をしていただきました。建物内では、天井の扇風機や蛍光灯の掃除や教室・廊下の窓拭き、トイレの便器磨き。屋外では、玄関前の側溝の泥揚げや草取り。

皆さん汗まみれ埃まみれになりながら一生懸命に作業をしてくださいました。

その大人の姿を見て子どもたちもいつもの掃除の時間よりもはりきって仕事をしていたように思います。

手も汚れ汗で着ている物も汚れましたが、やり終えたときのすがすがしい気持ちを子どもたちもきっと味わったでしょう。人のために働くことの大切さを学ぶ機会になったと思います。

おかげ様で、きれいな環境で気持ちよく二学期がスタートできます。ありがとうございました。

総合防災訓練

甲府市では防災の取組として、例年、防災の日の近くで「甲府市総合防災訓練」を実施しています。

今年は、八月二十七日の日曜日に開催されました。

訓練は、地区連合自治会ごとに近くの小・中学校を会場にして行われています。

伊勢地区自治会連合会は伊勢小を会場に、住吉地区連合自治会は南中学校を会場にして実施しています。

訓練の内容は、初期消火訓練、救出・救護訓練、炊き出し訓練、避難所運営訓練など、様々な災害場面が想定されていました。

伊勢地区の訓練では、校長と教頭が参加しましたが、残念なことに本校児童の姿はほとんど見られませんでした。前日の奉仕作業と連続したことや、翌日から二学期開始ということも影響したのかもしれません。

地域の活動に参画することは、子どものためになるばかりでなく、自分の生き方を豊かにすると思います。